

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画書  令和6年6月13日  大阪市長 殿  提出者 地方独立行政法人大阪府立病院 大阪急性期・総合医療センター  住 所 大阪市住吉区万代東三丁目1番56号  氏 名 総 長 嶋津 岳士  電話番号 06-6692-1201  廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	地方独立行政法人大阪府立病院 大阪急性期・総合医療センター
事業場の所在地	大阪市住吉区万代東三丁目1番56号
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	83：病院
②事業の規模	865床
③従業員数	2,042名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	〈感染性廃棄物〉 ■院内各所から排出される感染性廃棄物は専用容器に密封し、定置場所へ置いておく。 ■定置場所に置かれた専用容器を院内清掃業者（委託業者）が回収し、院内の保管場所へ運搬。 ■保管場所に運搬された感染性廃棄物は、優良認定処理業者へ委託し引渡しの上、廃棄処分（マニフェストの交付） 〈引火性廃油等〉 ■優良認定処理業者へ業務委託し、院内各所から直接引取の上、廃棄処分（マニフェストの交付）

（日本産業規格 A列4番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図) 事業所内管理体制 ①廃棄物主担部署 (部課名: 施設保全グループ) ②特別管理産業廃棄物管理責任者 (職・氏名: 総長 嶋津 岳士)	

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項							
①現状	【前年度 (令和5年度) 実績】			【前年度 (令和5年度) 実績】							
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	特廃油	特廃酸	特アルカリ	—	—				
	排出量	1578.981 t	0.014 t	0.003 t	0.001 t	— t	— t				
	(これまでに実施した取組) ○感染性廃棄物 感染・非感染の分別処理の徹底に努めたが、コロナ禍の影響もあり、感染対策を徹底したことにより、結果的に排出量が増加となった。また、排出された廃棄物の収集運搬並びに処分は、優良認定業者に委託している。 ○引火性廃油・廃酸 病理検査室、輸血室等の業務に使用しており、診療に影響を及ぼすため、抑制は困難である。										
②計画	【目標】							【目標】			
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	特廃油					特廃酸	特アルカリ	—	—
	排出量	1550 t	0.01 t					0 t	0 t	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) ○感染性廃棄物 感染・非感染の分別処理の継続を実施するとともに、院内職員へ周知徹底を図る。 ○引火性廃油・廃酸・汚泥 病院の業務に伴って発生する廃棄物であるため、抑制は困難である。										

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・感染性廃棄物とその他廃棄物の分別 ・液状、泥状物と固形状物の分別 ・鋭利な物とその他の物との分別
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状維持

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項				自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】			【前年度（令和5年度）実績】			
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	特廃油	特廃酸	特アルカリ	—	—
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t
	(これまでに実施した取組)						
②計画	【目標】						
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	特廃油	特廃酸	特アルカリ	—	—
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)						
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項							
①現状	【前年度（令和5年度）実績】			【前年度（令和5年度）実績】			
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	特廃油	特廃酸	特アルカリ	—	—
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t
(これまでに実施した取組)							
②計画	【目標】						【目標】
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	特廃油	特廃酸	特アルカリ	—	—
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t
(今後実施する予定の取組)							

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項				自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】			【前年度（令和5年度）実績】			
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	特廃油	特廃酸	特アルカリ	—	—
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t
	(これまでに実施した取組)						
②計画	【目標】			【目標】			
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	特廃油	特廃酸	特アルカリ	—	—
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)						
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項				特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】			【前年度（令和5年度）実績】			
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	特廃油	特廃酸	特アルカリ	—	—
	全処理委託量	1578.981 t	0.014 t	0.003 t	0.001 t	— t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	1578.981 t	0.014 t	0.003 t	0.001 t	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	— t	— t	— t	— t	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t	— t	— t	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t	— t	— t	— t	— t
(これまでに実施した取組) 委託基準を遵守できる産業廃棄物処理業者（優良認定業者）を選定しており、定期的に処理状況の確認を行っている。							

②計画	【目標】		【目標】				
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	特廃油	特廃酸	特アルカリ	—	—
	全処理委託量	1550 t	0.01 t	0 t	0 t	— t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	1550 t	0.01 t	0 t	0 t	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	— t	— t	— t	— t	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t	— t	— t	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t	— t	— t	— t	— t
(今後実施する予定の取組) 引き続き定期的に処理状況の確認を行う。							
電子情報処理組織の使用に関する事項							
【前年度（令和5年度）実績】							
特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	1578.999 t						
(今後実施する予定の取組等)							
※事務処理欄							

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トンを超える者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。